



千歳市における空港の歴史は、現在の国道36号と千歳川が交通手段であった千歳村において、大正15年に鉄道が開通したことと一本の着陸場が造成されたことに端を発し、98年目を迎えます。

新千歳空港は、2本の3,000m滑走路を有する北海道における基幹空港です。北米・欧州に至近という地理的優位性を生かし、国際拠点空港化を目指しており、平成6年には日本初の24時間空港として運用を開始し、平成22年3月には国際線旅客ターミナルビルが供用を開始しました。

令和2年6月からは、民間委託により、北海道エアポート株式会社による滑走路等の空港関連施設とターミナルビル等の上下一体運営が開始されました。今後、民間の経営能力を活用した戦略的な運営によって、就航路線の拡大、利用者利便の向上など、さらなる発展が期待されます。

令和2年以降、新型コロナウイルス感染症拡大により利用は大きく落ち込みましたが、令和4年からは増加に転じ、令和5年における新千歳空港の乗降客数は約2,225万1千人で、水際対策の終了や新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行などにより、過去最高の乗降客数を記録した令和元年に近い水準まで回復しました。

新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年の乗降客数は、約2,459万9千人で、6年連続で過去最高を更新し、航空路は国内各地31都市、海外ではヘルシンキ、シドニーをはじめ中国、韓国、台湾などの25都市と結ばれていました。中でも、1日56往復（令和6年4月現在）が運航する新千歳－羽田線は、世界有数の輸送人員を誇る路線です。

市内には千歳駅、南千歳駅、新千歳空港駅、長都駅の4つの旅客駅が設置されています。令和4年度の新千歳空港駅と千歳駅における乗車人数は、それぞれ道内2位、7位と多く、まさに交通の拠点であることを示しています。都市間輸送を担うJR千歳線は市街地において高架化されたJR北海道の最大幹線で、道内主要都市からの空港連絡鉄道

のほか、本州連絡鉄道としての性格を帯びています。

国道36号は、札幌－千歳－苫小牧－室蘭を結ぶ道内の幹線で、ほかに国道5路線と道道14路線や鉄道とともにネットワークを構成することで、物流の合理化など北海道の発展に寄与しています。

また、北海道を縦横断する高速自動車国道の「北海道縦貫自動車道」と「北海道横断自動車道」では、道内における連絡機能の強化や地域間交流の活性化、新千歳空港等への物流の効率化等の支援を目的として、各道路の拠点となる道内主要都市へ向けた整備が進められています。市内では、接続する千歳IC及び千歳東ICに加え、平成25年8月には新千歳空港ICが開通し、新千歳空港へ向かう新たなルートが確保されたほか、新千歳空港と石狩湾新港を結ぶ道央圏連絡道路についても、令和2年3月に、千歳－長沼間を結ぶ泉郷道路が開通するなど整備が進んでいます。

千歳は、国際拠点港湾を有する苫小牧・室蘭と鉄道や道路で直結しており、北海道における「空・陸・海」をジョイントする一大交通拠点として、成長を続けています。



59 新千歳空港概要

(1) 基本施設

面 積 728 万㎡
滑 走 路 A滑走路 延長 3,000m 幅 60m (アスファルトコンクリート舗装)
B滑走路 延長 3,000m 幅 60m (アスファルトコンクリート舗装)
誘 導 路 延長 16,991m 幅 23m～58m
エプロン 面積 826,504㎡ 大型航空機用53 パース 中型航空機用3 パース
小型航空機用8 パース

北海道エアポート(株)

(2) 旅客ターミナルビル

ア 床面積・用途

(単位 ㎡)

区 分	国内線ターミナルビル	用 途
地下1階	23,807	
1 階	43,972	バゲージクレーム 到着ロビー等
2 階	57,582	出発ロビー 搭乗待合室 ショッピングワールド等
3 階	36,624	グルメワールド 有料待合室 ホテル等
4 階	16,815	温泉施設 映画館 ホテル等
5 階	4,722	ホテル等
塔 屋	610	
計	184,132	

区 分	国際線ターミナルビル	用 途
地下1階	821	
1 階	27,302	車寄せロビー ホテル等
2 階	41,510	到着ロビー 到着コンコース ホテル等
3 階	42,807	出発ロビー 出発コンコース ホテル等
4 階	16,259	有料待合室 ホテル等
5 階	4,146	ホテル等
6 階	3,580	ホテル等
7 階	3,580	ホテル等
8 階	3,580	ホテル等
塔 屋	53	
計	143,638	

区 分	連 絡 施 設	用 途
地下1階	224	
1 階	1,815	ホール
2 階	8,072	連絡通路等
3 階	8,072	エンターテイメント施設
4 階	2,942	機械室等
5 階	—	
塔 屋	3	
計	21,128	

イ 機械設備

(ア) 国内線旅客ターミナルビル

機械設備	ボーディングブリッジ	26基
	旅客用エスカレーター	82基
	旅客用（身障者兼用）エレベーター	20基
	ホテル客用エレベーター	2基
	人荷用エレベーター	13基
	出発・到着ベルトコンベア	28基（出発18 到着10）
	ダムウェーター	2基
フライトインフォメーション	一式 制御操作装置・表示ボード129台・自動放送装置	
デジタルメディア設備	43台	
構内電話交換設備	一式 大容量デジタル式交換機	

(イ) 国際線旅客ターミナルビル

機械設備	ボーディングブリッジ	15基
	旅客用エスカレーター	31基
	ムービングサイドウォーク（動く歩道）	6基
	旅客用（身障者兼用）エレベーター	25基
	ホテル客用エレベーター	4基
	人荷用エレベーター	15基
	出発・到着ベルトコンベア	37基（出発26 到着11）
フライトインフォメーション	一式 制御操作装置・表示ボード188台・自動放送装置	
デジタルメディア設備	31台	
構内電話交換設備	一式 大容量デジタル式交換機（国内線配下装置）	

(ウ) 連絡施設

機械設備	旅客用エスカレーター	10基
	ムービングサイドウォーク（動く歩道）	8基
	旅客用（身障者兼用）エレベーター	3基
	人荷用エレベーター	1基
フライトインフォメーション	表示ボード20台	
デジタルメディア設備	20台	

北海道エアポート(株)



(3) 国内線貨物ターミナルビル

ア 航空会社棟

(単位 m)

区 分	日本航空棟	A N A 棟	用 途
地下1階	484	236	荷捌場・事務室等
1 階	7,990	5,618	
2 階	965	369	
計	9,439	6,223	

イ 代理店棟 (日通棟を含む)

(単位 m)

区 分	代理店上屋	用 途
地下1階	245	荷捌場・事務室等
1 階	4,645	
2 階	1,269	
計	6,159	

北海道エアポート(株)

(4) ターミナルアネックスビル

(単位 m)

区 分	ターミナルビル付属棟	用 途
地 下 1 階) 5 階 (塔屋含む)	7,602	事務室等

北海道エアポート(株)

(5) ケータリング (機内食) 施設

(単位 m)

区 分	ケータリング施設	用 途
1 階) 2 階	10,160	機内食工場・食品調整工場等

北海道エアポート(株)

(6) 車両整備格納庫

(単位 m)

区 分	A 棟	B 棟	用 途
1 階) 2 階	2,653	4,614	航空機支援車両整備車庫

北海道エアポート(株)

(7) ビジネスジェット専用施設

(単位 m)

区 分	ビジネスジェット専用施設	用 途
1 階	592	専用待合室等

北海道エアポート(株)

60 新千歳空港乗降客数の推移

年・月	総 数	乗 客	降 客
元 年	(3,866,519) 24,599,263	(1,927,802) 12,347,349	(1,938,717) 12,251,914
2 年	(634,398) 9,299,961	(328,474) 4,704,722	(305,924) 4,595,239
3 年	(25) 8,233,438	(17) 4,122,890	(8) 4,110,548
4 年	(257,382) 15,227,741	(119,563) 7,645,938	(137,819) 7,581,803
5 年	(2,561,124) 22,251,440	(1,271,194) 11,169,262	(1,289,930) 11,082,178
1 月	(249,649) 1,563,727	(123,596) 808,408	(126,053) 755,319
2 月	(240,907) 1,681,712	(121,137) 845,731	(119,770) 835,981
3 月	(180,468) 1,831,544	(91,873) 928,674	(88,595) 902,870
4 月	(120,538) 1,448,627	(59,961) 714,954	(60,577) 733,673
5 月	(130,482) 1,787,211	(64,134) 902,251	(66,348) 884,960
6 月	(173,793) 1,889,338	(83,606) 937,848	(90,187) 951,490
7 月	(281,149) 2,123,555	(137,505) 1,057,233	(143,644) 1,066,322
8 月	(279,185) 2,317,685	(144,532) 1,182,069	(134,653) 1,135,616
9 月	(180,641) 2,061,153	(88,213) 1,041,670	(92,428) 1,019,483
10 月	(198,411) 1,975,719	(100,637) 1,006,267	(97,774) 969,452
11 月	(199,827) 1,710,874	(97,729) 854,303	(102,098) 856,571
12 月	(326,074) 1,860,295	(158,271) 889,854	(167,803) 970,441

1 ()内は国際線乗降客数で再掲である

2 令和5年の数値は速報値

国土交通省「空港管理状況調書」、北海道エアポート(株)新千歳空港事業所（空港政策課）

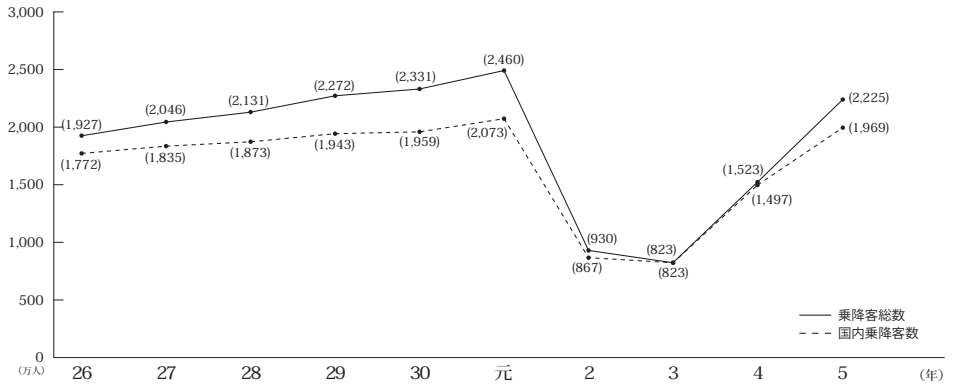
61 新千歳空港乗降客数（令和5年）

種 別		路	線	乗 降 客 数
総			数	22,251,440
国 内 線 総			数	19,690,316
拠 点	空会 社管 理港	成 田		2,129,245
		中 部		1,419,051
		関 西		1,440,742
		大 阪		1,301,453
	空 港	国 管 理 空 港	稚 内	
釧 路				78,389
函 館				68,085
仙 台				850,930
新 潟				179,066
東 京				9,174,895
広 島				191,171
福 岡				746,026
沖 縄				120,473
	特定地方 管理空港	秋 山	田 形	110,578
				38,531
地 方 管 理 空 港	利 中 女 青 花 福 富	標 満	尻 津 別 森 巻 島 山	25,238
				104,528
				195,382
				161,860
				85,114
				40,015
				76,265

種 別	路 線	乗 降 客 数
地 方 管 理 空 港	松 本	55,321
	静 岡	80,108
	神 戸	579,800
	岡 山	68,469
	出 雲	5,403
共 用 空 港	茨 城	197,373
	小 松	101,701
	徳 島	3,663
そ の 他		1,071
国 際 線 総 数		2,561,124
韓 国 (ソウル、釜山、大邱、務安)		1,260,736
台 湾 (台北)		644,497
香 港		268,749
中 国 (北京、上海、天津、杭州)		42,300
その他定期路線 (バンコク、シンガポール、 クアラルンプール)		343,088
チャーター便等		1,754

1 数値は速報値
北海道エアポート㈱新千歳空港事業所（空港政策課）

乗降客数の推移



1 令和5年の数値は速報値
国土交通省「空港管理状況調書」、北海道エアポート㈱新千歳空港事業所（空港政策課）

62 新千歳空港貨物取扱量の推移

(単位 t)

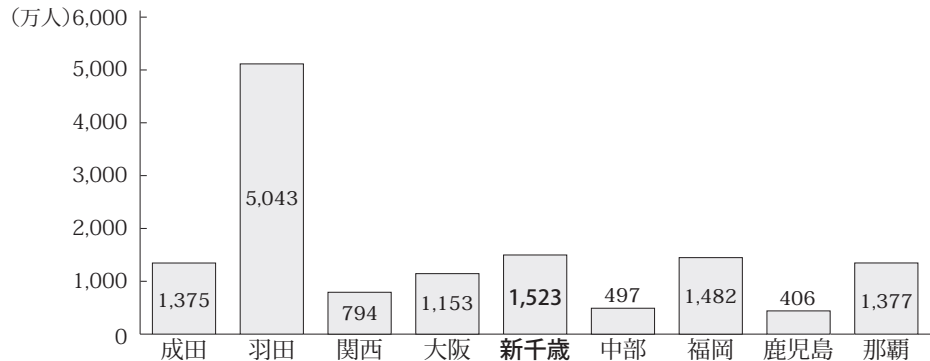
区 分	総数		積荷		降荷	
	4 年	5 年	4 年	5 年	4 年	5 年
総 数	(6,403) 122,746	(6,890) 132,888	(5,077) 62,166	(5,123) 65,960	(1,326) 60,580	(1,767) 66,928
1 月	(780) 8,055	(598) 8,901	(611) 3,750	(502) 3,915	(169) 4,305	(96) 4,987
2 月	(606) 7,531	(554) 8,958	(470) 3,270	(469) 3,948	(136) 4,261	(85) 5,010
3 月	(451) 8,952	(582) 10,462	(375) 3,686	(479) 4,475	(76) 5,266	(102) 5,988
4 月	(600) 8,833	(675) 10,115	(507) 4,173	(461) 4,494	(93) 4,660	(214) 5,621
5 月	(573) 8,115	(549) 9,217	(499) 4,077	(458) 4,312	(74) 4,038	(91) 4,904
6 月	(512) 8,898	(561) 10,460	(439) 4,651	(454) 5,284	(73) 4,247	(107) 5,176
7 月	(427) 11,155	(498) 11,918	(341) 6,373	(385) 6,799	(86) 4,782	(113) 5,118
8 月	(409) 11,067	(480) 11,586	(326) 6,132	(347) 6,557	(83) 4,935	(133) 5,029
9 月	(517) 11,523	(592) 11,943	(403) 6,747	(473) 6,971	(114) 4,776	(119) 4,973
10 月	(431) 12,517	(619) 13,067	(325) 7,112	(322) 7,342	(106) 5,405	(296) 5,725
11 月	(449) 11,656	(579) 11,974	(282) 5,668	(303) 5,686	(167) 5,988	(276) 6,288
12 月	(648) 14,444	(605) 14,285	(499) 6,527	(469) 6,177	(149) 7,917	(136) 8,108

1 () 内は国際貨物量で再掲である

2 令和5年の数値は速報値

国土交通省「空港管理状況調査」、北海道エアポート㈱新千歳空港事業所(空港政策課)

主要空港乗降客数(令和4年)



国土交通省「空港管理状況調査」(空港政策課)

63 千歳飛行場施設概要

千歳飛行場は、防衛省が設置・管理する航空法第56条の5による共用飛行場です。

面積 約1,060万㎡
滑走路 東側滑走路 延長3,000m 幅60m (セメントコンクリート舗装)
西側滑走路 延長2,700m 幅45m (アスファルトコンクリート舗装)

1 表233(3)に再掲
航空自衛隊千歳基地
※基地全体 1,054万㎡
飛行場 621万㎡

64 空港除雪車両車種別保有台数

車 種	新千歳空港	車 種	新千歳空港
プラウ除雪車	21	凍結防止剤散布車	2
スノーパ除雪車	20	計	51
ロータリ除雪車	8		

1 令和6年4月1日現在
北海道エアポート(株)

65 鉄道旅客輸送人員の推移 (乗車人員)

(単位 千人)

駅 名	30 年 度	元 年 度	2 年 度	3 年 度	4 年 度
総 数	10,356	10,373	5,203	5,981	8,440
千 歳 駅	3,317	3,321	2,485	2,520	2,904
南 千 歳 駅	557	569	329	349	449
新 千 歳 空 港 駅	6,482	6,482	2,389	3,112	5,086

1 長都駅は無人駅のため不詳 美々駅は平成29年3月4日廃止
北海道旅客鉄道(株)経営企画部

66 令和4年度道内駅別乗車人員 (1日平均)

(単位 人)

順 位	駅 名	乗 車 人 員	順 位	駅 名	乗 車 人 員
1 (1)	札 幌	77,264	11 (10)	北 広 島	6,632
2 (6)	新千歳空港	13,935	12 (14)	大 麻	5,384
3 (3)	新 札 幌	12,663	13 (13)	苗 穂	5,383
4 (2)	手 稲	12,593	14 (12)	野 幌	5,099
5 (4)	琴 似	9,501	15 (15)	星 置	4,721
6 (5)	桑 園	9,429	16 (16)	発 寒 中 央	3,952
7 (7)	千 歳	7,957	17 (17)	稲 積 公 園	3,863
8 (11)	小 樽	7,335	18 (18)	発 寒	3,824
9 (8)	白 石	7,029	19 (19)	岩 見 沢	3,583
10 (9)	恵 庭	6,772	20 (20)	森 林 公 園	3,508

1 () 内は前年度順位
北海道旅客鉄道(株)経営企画部

67 高速自動車国道

(1) 道央自動車道施設概要

路線名	北海道縦貫自動車道 函館名寄線
区間	茅部郡森町―士別市
延長	443.5km（千歳市域9.5km）
車線数	4車線（一部暫定2車線）
設計速度	120km/時、100km/時及び80km/時
規制速度	最高速度100km/時（一部区間80km/時又は70km/時） 最低速度50km/時
サービスエリア	4か所（有珠山 樽前 岩見沢 砂川）
パーキングエリア	11か所（八雲 静狩 豊浦噴火湾 富浦 萩野 美沢 輪厚 野幌 茶志内 音江 比布大雪）

1 令和5年3月31日現在
NEXCO 東日本北海道支社

(2) 道東自動車道施設概要

路線名	北海道横断自動車道 黒松内釧路線・黒松内北見線
区間	千歳市―釧路市、足寄町（国 直轄区間（本別～阿寒）を含む）
延長	254.1km（千歳市域18.4km）
車線数	暫定2車線
設計速度	100km/時及び80km/時
規制速度	最高速度70km/時（一部区間80km/時）
サービスエリア	1か所（十勝平原）
パーキングエリア	5か所（キウス 由仁 占冠 長流枝 上浦幌）

1 令和5年3月31日現在
NEXCO 東日本北海道支社

(3) 供用状況（インターチェンジ）

大沼公園―24―森―23―落部―21―八雲―18―国縫―13―長万部―9―虻田洞爺湖―6―伊達―4―室蘭―3―登別室蘭―61―登別東―60―



- 1 令和5年3月31日現在
 - 2 供用状況欄のインターチェンジ間の数字は供用開始年を示す
 - 3 千歳―阿寒・足寄間は道東自動車道を示す（ジャンクションは千歳恵庭）
 - 4 札幌―小樽間は札幌自動車道を示す（ジャンクションは札幌）
 - 5 小樽―余市間は後志自動車道を示す（ジャンクションは小樽）
- NEXCO 東日本北海道支社

(4) 千歳インターチェンジ出入車両の推移 (単位 台)

年度	総 数	日 平 均
元	4,597,756	12,562
2	2,775,536	7,604
3	3,054,766	8,369
4	3,924,311	10,752
5	4,359,306	11,911

NEXCO東日本北海道支社



68 バス輸送人員

(1) バス輸送人員の推移

(単位 千人)

年度	元	2	3	4	5
輸 送 人 員	3,163	1,955	2,027	2,316	2,552

1 千歳市内に路線を持つ会社4社の合計である
北海道中央バス(株)・道南バス(株)・千歳相互観光バス(株)・あつまバス(株)

(2) 会社別・路線別輸送人員 (令和5年度)

(単位 千人)

会 社 名	路 線	輸送人員	会 社 名	路 線	輸送人員
北海道中央バス		1,857	千歳相互観光バス		402
	千 歳	555		青 葉	60
	千歳空港支笏湖	57		泉 沢	243
	苫 小 牧	244		勇 舞 空 港	68
	千 歳 市 内	1,001		市民病院プール	31
道 南 バ ス		265	あ つ ま バ ス	千 歳	28
	苫小牧千歳空港	176			
	室蘭千歳空港	45			
	勇舞千歳空港	44			

北海道中央バス(株)・道南バス(株)・千歳相互観光バス(株)・あつまバス(株)

69 タクシーの輸送状況の推移

年	会社数(社)	登録台数(台)	実車走行距離(千km)	乗車人員(千人)
2	6	190	5,999	2,159
3	6	179	2,878	1,315
4	6	201	3,627	1,621
5	6	192	5,425	2,008
6	6	189	6,040	1,927

1 各年3月31日現在
千歳地区ハイヤー事業協同組合

70 自動車車種別登録台数の推移

(単位 台)

車 種		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
貨物用	普通車	2,788	2,867	2,859	2,876	2,931
	小型車	3,094	3,100	3,264	3,356	3,669
	被けん引車	261	266	332	334	369
	計	6,143	6,233	6,455	6,566	6,969
乗合用	普通車	254	222	211	220	237
	小型車	240	219	214	208	230
	計	494	441	425	428	467
乗用	普通車	20,890	19,989	20,220	22,159	23,681
	小型車	23,986	23,225	23,232	23,853	23,284
	計	44,876	43,214	43,452	46,012	46,965
特種(殊)用途	特種車	1,294	1,321	1,335	1,350	1,372
	大型特殊車	719	735	738	759	781
	計	2,013	2,056	2,073	2,109	2,153
小型二輪車		1,376	1,440	1,469	1,555	1,603
軽自動車		26,219	26,510	27,024	27,522	28,194
総数		81,121	79,894	80,898	84,192	86,351

1 各年度末現在
北海道運輸局札幌運輸支局ホームページ「市町村別保有車両数年報(札幌運輸支局管内)」、一般社団法人全国軽自動車協会連合会(総務課)

71 電話加入状況の推移

(単位 台)

年度	加入電話					公衆電話	
	総数	区分		100人 当たり 普及台数	住宅用 電話比率 (%)	総数	1,000人 当たり 普及台数
		事務用	住宅用				
元	13,123	3,896	9,227	13.6	70.3	130	1.3
2	12,246	3,651	8,595	12.6	70.2	130	1.3
3	11,409	3,425	7,984	11.7	70.0	128	1.3
4	10,563	3,204	7,359	10.9	69.7	117	1.2
5	10,373	3,541	6,832	10.7	65.9	110	1.1

1 各年度末現在（INSネット回線含む）

2 INSネット1500は10回線換算とした

NTT東日本（株）北海道支店

72 郵便施設数の推移

年	郵便局数		郵便切手類販売所及び 印紙売りさばき所	郵便ポスト
	総数	簡易郵便局（再掲）		
2	15	1	133	100
3	15	1	112	109
4	15	1	113	107
5	15	1	111	105
6	15	1	101	104

1 各年4月1日現在

日本郵便株式会社 北海道支社

※郵便局総数には、千歳郵便局新千歳空港内分室を含む

73 放送受信契約数の推移

(単位 件)

年 度	契 約 数	衛星契約数（再掲）
30	37,140	17,218
元	37,572	17,625
2	37,307	17,416
3	37,121	17,366
4	37,214	17,348

1 各年3月31日現在

2 NHKホームページ「受信料・受信契約数に関するデータ」（総務課）

市の魚 サケ

平成8(1996)年11月1日制定



(サケ科の海産硬骨魚)

「千歳」という地名が生まれる以前から川にはたくさんのサケがそ上し、この地に住む人々の貴重な食糧でした。

今も千歳川をそ上するサケは、捕魚車「インディアン水車」とともに秋の風物詩となっています。

地下観察室で川中のサケのそ上が見られる「サケのふるさと千歳水族館」などサケを主役とした施設が市内観光の一大ポイントとなっています。